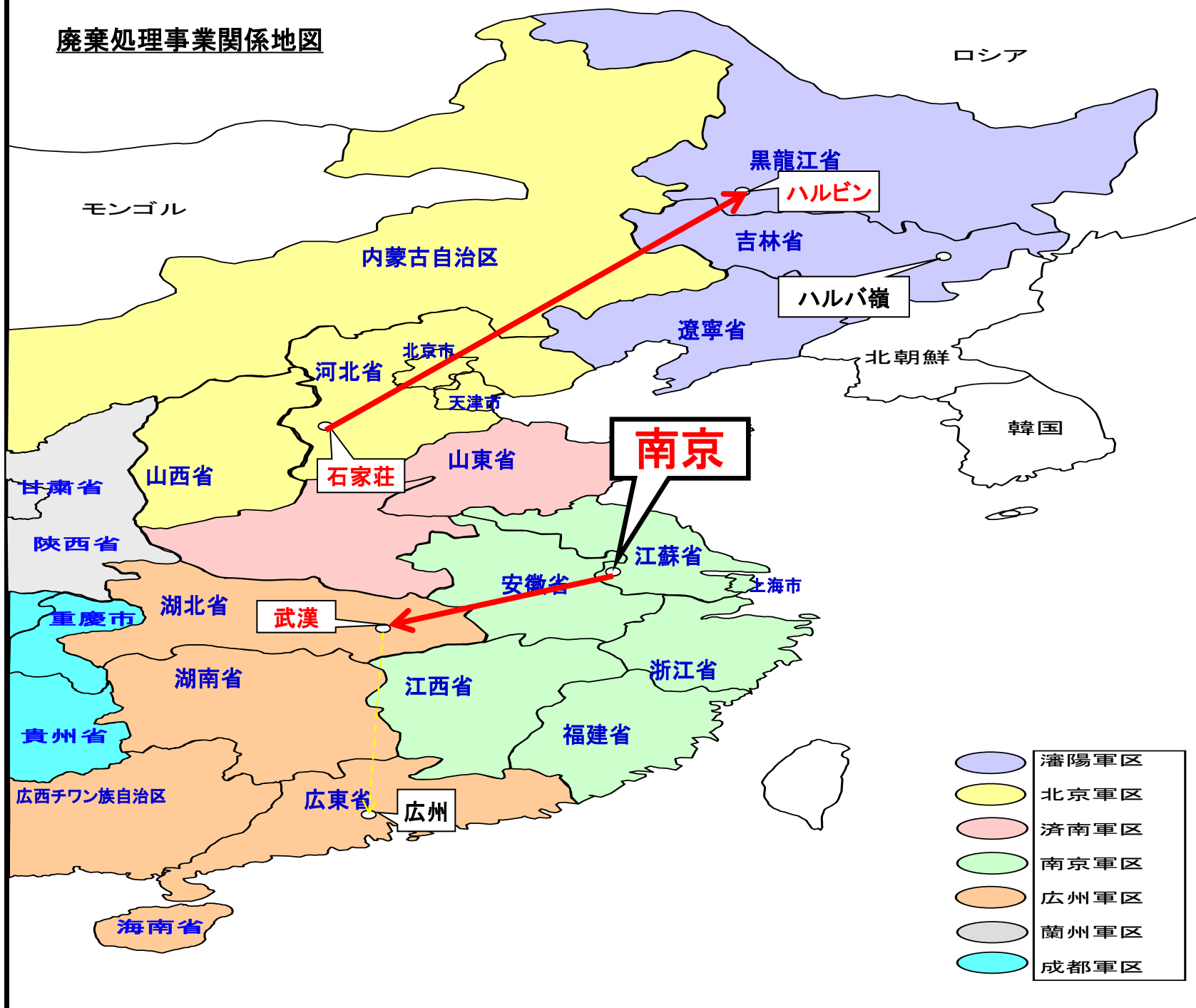


移動式廃棄処理事業について



平成23年10月17日(月)
第8回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

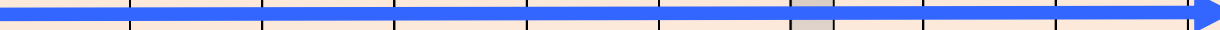
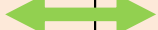
廃棄処理事業関係地図



2011年度移動式処理事業の計画

現在



No.	年月 事業	2011年									2012年			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
南部移動式														
1	南京市			有毒発煙筒、砲弾の廃棄									きい剤補給容器の廃棄	
														
2	武漢市	計画作成等の協議												
														
														
		各種建設工事												
3	南部第三処理場							国慶節	用地選定			春節	計画作成等の協議	
														
北部移動式														
1	石家荘市	計画作成等の協議												
														
		移動式処理設備の製作												
														
		各種建設工事												
2	ハルビン市	計画作成等の協議												
														
														
		用地選定												
														
														

南京移動式処理事業について(概要)

1. 概要

南京市及びその周辺地域において発掘・回収された旧日本軍の遺棄化学兵器（約36,000発）について、移動式処理設備を用いて廃棄処理を行う。

2. 実施場所

江蘇省南京市

3. 実施体制

日中が、それぞれの現場代表者による指揮の下、作業団を編成し、廃棄処理作業にあたる。

4. 主な動き

- ・ 廃棄処理開始宣言（平成22年9月1日）、廃棄開始（平成22年10月12日）。
- ・ ウズムジュOPCW事務局長の南京訪問（平成22年11月、日中間の協力評価する旨のプレスリリース）
- ・ OPCWによる査察（第1回平成22年12月、第2回平成23年2月、第3回平成23年6月、第4回平成23年8月）
- ・ 平成23年9月末時点で約35,200発の遺棄化学兵器を処理。

5. 今後のポイント等

- ① きい弾処理の開始（75mm9発、90mm4発、150mm1発（周辺から輸送する砲弾を含む））。
- ② 追加的事項として南京周辺の砲弾の輸送、きい剤補給容器の廃棄、廃棄処理後の廃棄物の無害化。現在、中国側と調整中。

6. 今後の見通し

平成24年前半に終了させる方向で中国側と調整中。

南京処理場の模様



受け入れ作業



爆破チャンバー



開梱・検知作業

きい弾及びきい剤補給容器の廃棄について

＜低濃度連続モニタリング装置＞

南京において、きい弾及びきい剤補給容器廃棄時に導入する低濃度連続モニタリング装置の性能確認試験及び検収を実施（平成23年8月）。

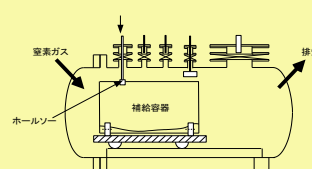


＜きい剤補給容器の廃棄について＞

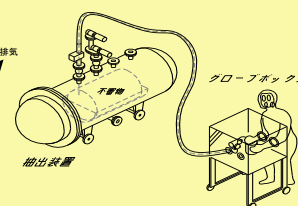
現在、南京にある7つのきい剤補給容器を南京において制御爆破により廃棄するべく準備・調整中。前処理設備（穿孔・抽出装置、グローブボックス等）を調達。



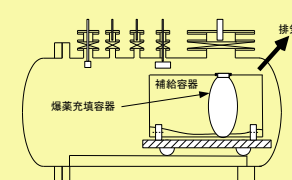
きい剤補給容器



補給容器への穿孔



補給容器からのきい剤の抽出・小分け



きい剤を抜き取った補給容器を爆破するための加工



中国南部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について(南京以降)

【第2処理場(武漢)進捗状況等】

●処理場用地:選定済

○直近の日中専門家協議(第5回)

8/30,31に南京にて、リスク評価、準備工事基本計画等について協議を行った。

○工事等の実施依頼

- ・アクセス道路の設計案について調整中。
- ・場内用地造成について中国側に依頼。
- ・処理設備基礎の設計・施工を中国側に依頼。



【今後のポイント】

○南京からの設備の輸送・据付:計画の検討、輸送・据付業者の選定。

【今後の見通し】

武漢における処理事業を平成24年後半に廃棄開始。平成24年中に廃棄完了(武漢、長沙、信陽、周口、洛寧等のものを含む)する予定。

【第3処理場進捗状況等】

<実施場所の選定中>

- ・平成23年3月下旬に日中で実施予定であった第3処理場候補地(広東省広州市)についての調査は延期となり、近々、専門家による現地調査を実施予定。

中国北部に導入する遺棄化学兵器廃棄処理(移動式処理)事業について

【第1処理場(石家荘)進捗状況】

●処理場用地:選定済

○直近の日中専門家協議(第10回)

8/10到北京にて、リスク評価、準備工事基本計画等について協議を行った。

翌日、処理設備等の通関にかかわる日中の関係者に対し、双方から今後の通関手続等についての説明・意見交換を行った。

○工事等の実施依頼

- ・アクセス道路の設計案について合意
- ・場内用地造成の設計案について調整中
- ・処理設備基礎の設計・施工を中国側に依頼



【移動式処理設備製作状況】

●移動式処理設備:製作完了

内閣府は8月上旬、(株)神戸製鋼所が製作した移動式処理設備の総合作動試験への立会いを実施。順調に作動することを確認した。



これを受けて、8月末に機器の検収を行った。9月1日にリース開始、現在国内倉庫に保管中。



【今後の見通し】

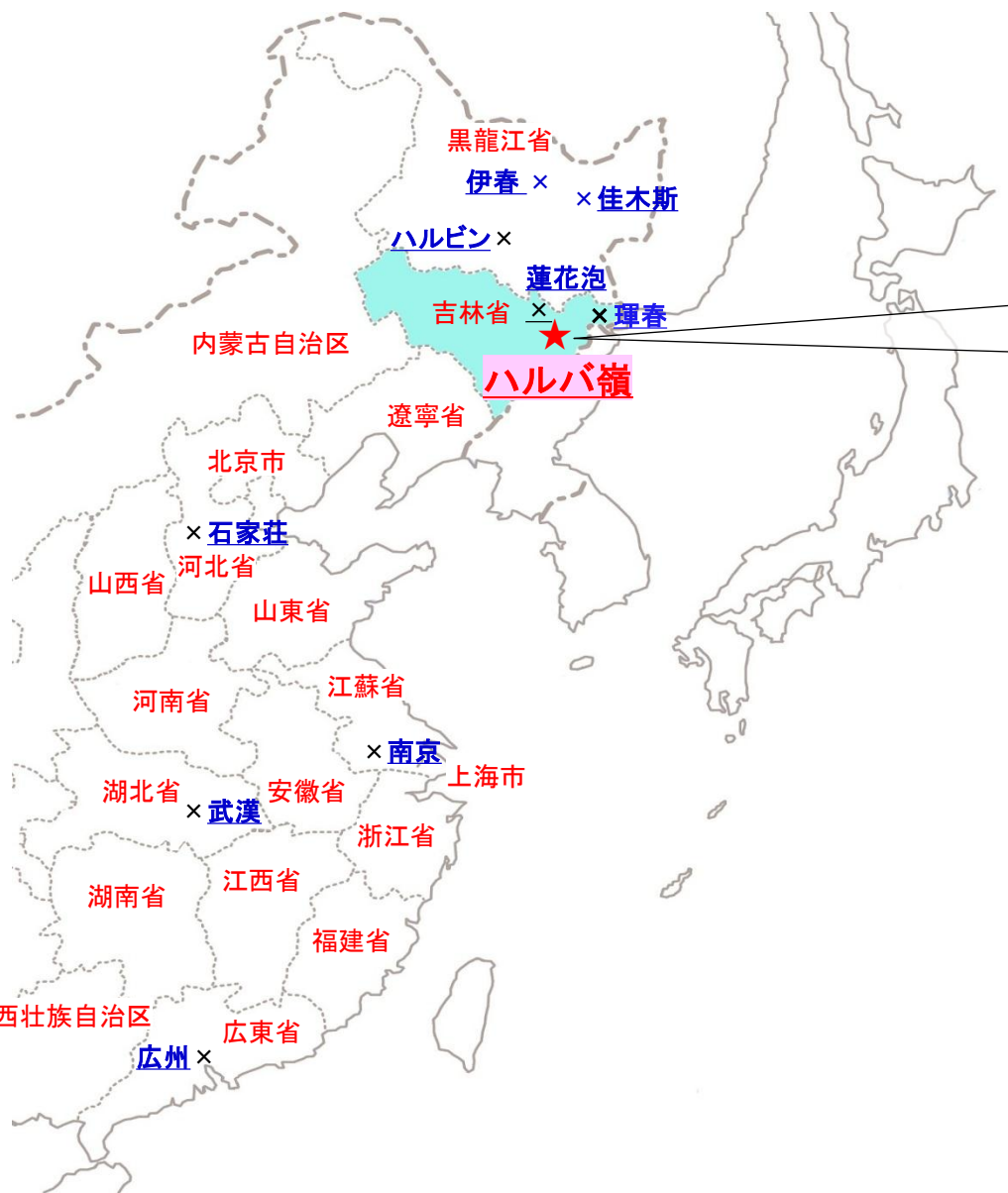
石家荘における処理事業を平成24年中に開始し、同年中に廃棄完了(唐山、太原、天津のものを含む)する予定。ハルビンにおける処理事業については、日中両国政府間で開始時期を含め詳細につき協議中。

ハルバ嶺事業について



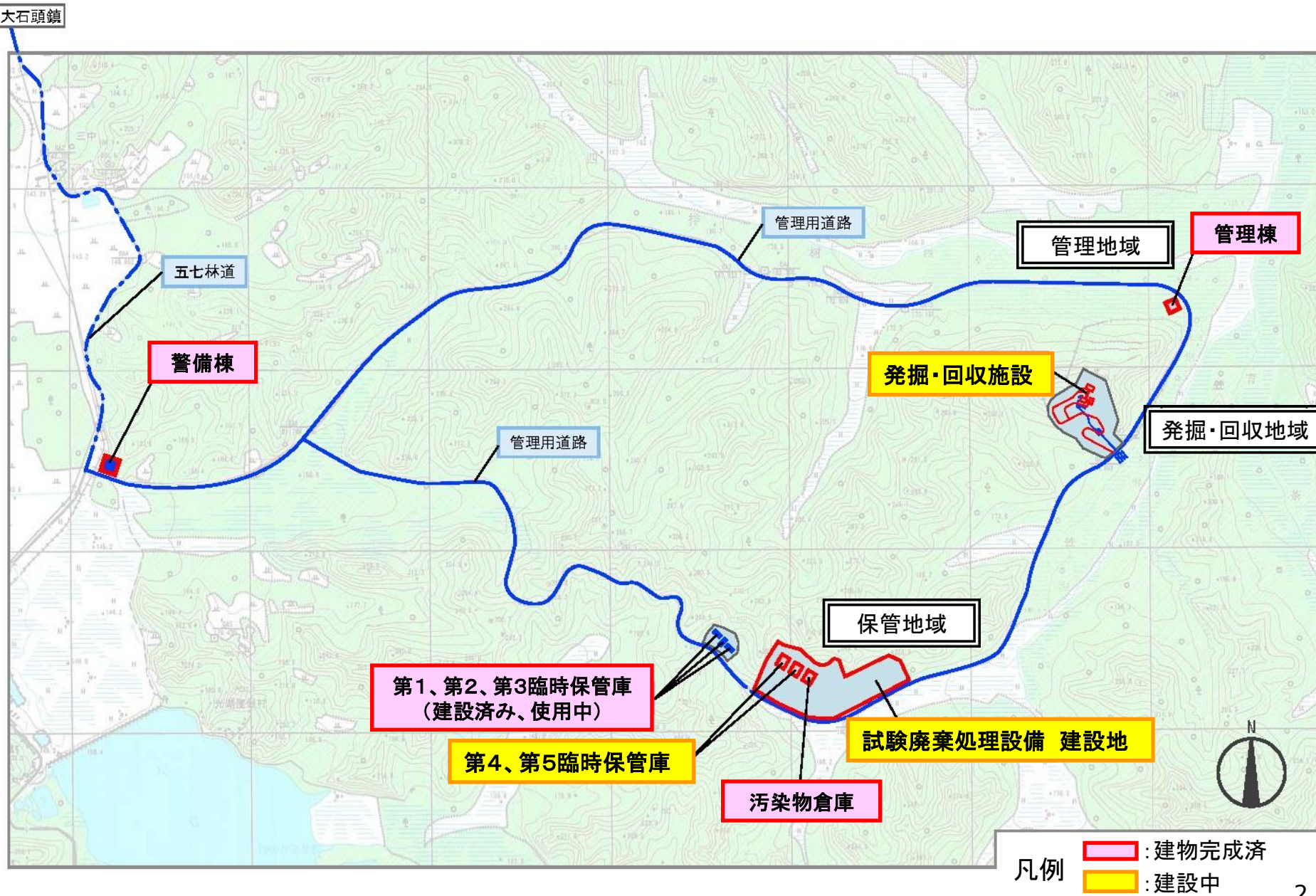
平成23年10月17日(月)
第8回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

平成23年度における遺棄化学兵器処理主要事業



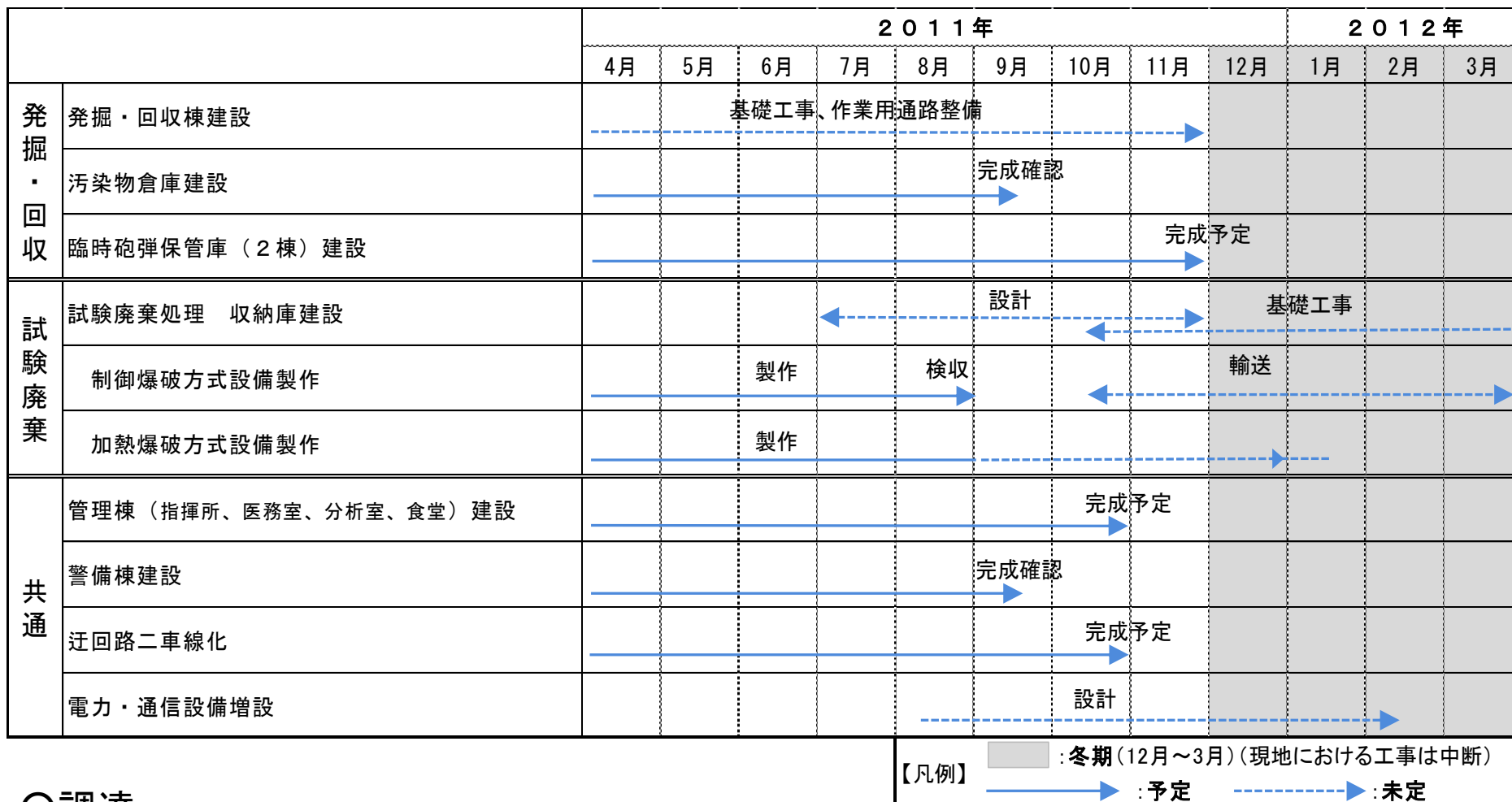
○ハルバ嶺地区における砲弾埋設数は、
平成14年（2002）探査の結果、
推定30～40万発。

ハルバ嶺事業関連施設 配置図



平成23年度ハルバ嶺事業 進捗状況

○施設・インフラの整備



○調達

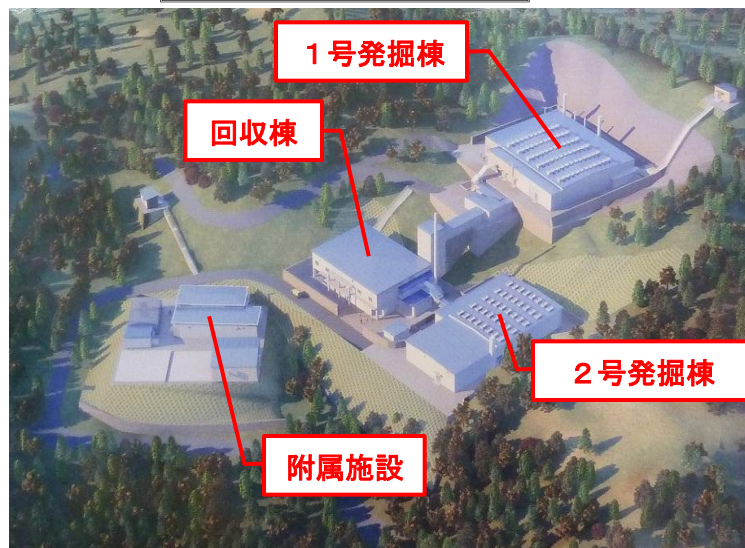
・試験廃棄処理設備の輸出・輸送

落札者：株式会社日新

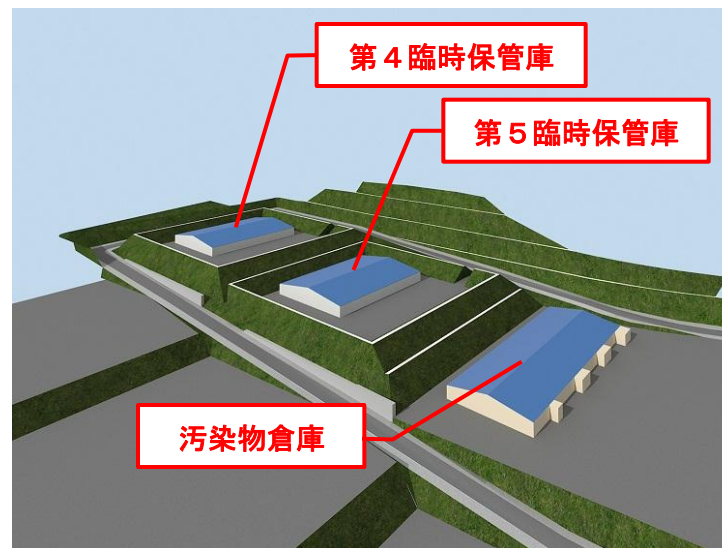
落札金額：107,359,926円（税抜き）

建設中の施設（発掘・回収関連）

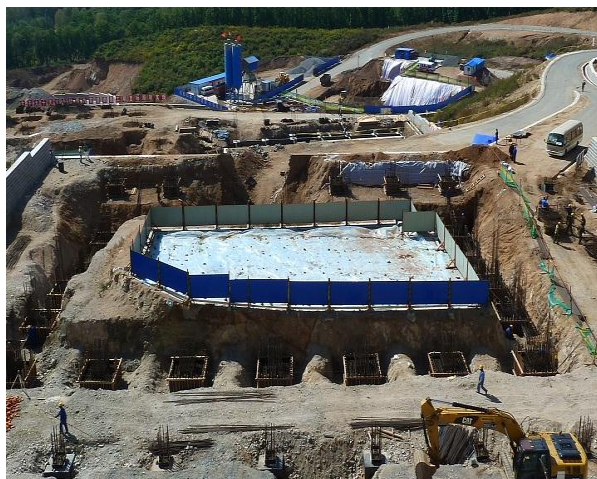
発掘・回収施設イメージ図



臨時保管庫・汚染物倉庫イメージ図



1号発掘棟建設予定地(9月)



2号発掘棟建設予定地(9月)



回収棟建設予定地(9月)



1号坑: 上面11m×24m×高さ4m。体積497m³
2号坑: 上面10m×20m×高さ2.5～3.5m。体積247m³

建設中の施設

汚染物倉庫(9月)



臨時砲弾保管庫(9月)



警備棟(9月)



管理棟(9月)



迂回路(9月)



ハルバ嶺に導入する遺棄化学兵器廃棄処理事業の進捗(制御爆破方式)

【試験廃棄処理場進捗状況】

- ・ 試験廃棄処理設備設置予定地造成工事完了
- ・ 準備工事基本計画、リスク評価報告書、廃棄物管理計画等について中国側と調整中

【試験廃棄処理設備製作状況】

- ・ 7月下旬に総合作動試験を実施
- ・ 8月末に検収を実施
- ・ 9月1日よりリリース開始、現在国内倉庫に保管中



制御爆破方式爆破チャンバー

爆破チャンバー



モジュール



(8月 総合作動試験時撮影)

平成24年度以降の予定

○施設・インフラの完成

- ・管理棟の分析・医療等設備の設置
- ・管理用道路の舗装
- ・電力設備の増設工事
- ・通信設備の増設工事

○発掘・回収事業

- ・発掘・回収施設の完成、設備の設置

本格発掘回収の開始

○試験廃棄処理事業

- ・処理設備収納庫の施工
- ・処理設備の据付

試験廃棄処理事業の開始

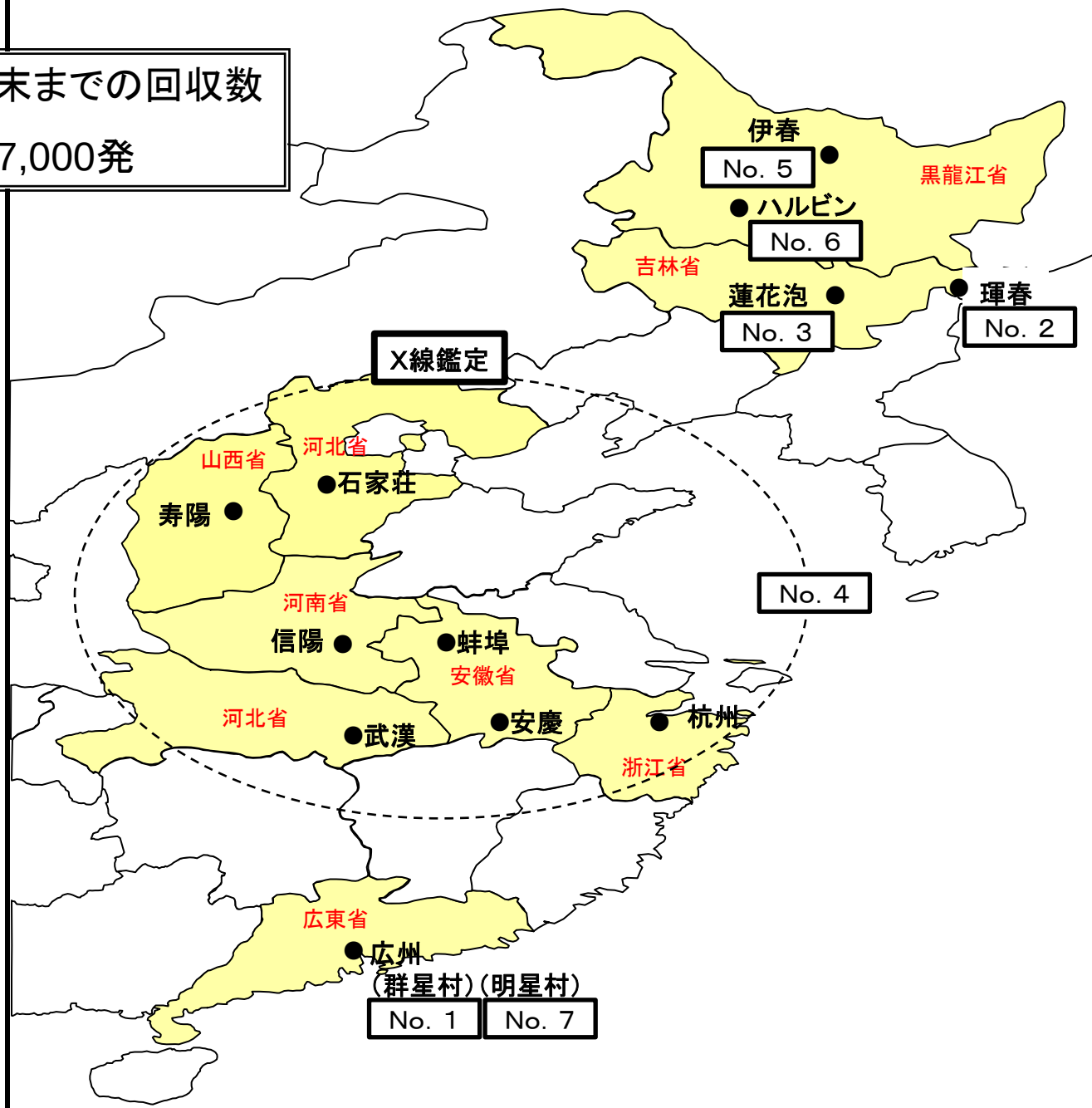
中国各地での発掘・回収事業について



平成23年10月17日(月)
第8回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

2011年中国各地域の発掘・回収事業実施箇所

2011年9月末までの回収数
約47,000発



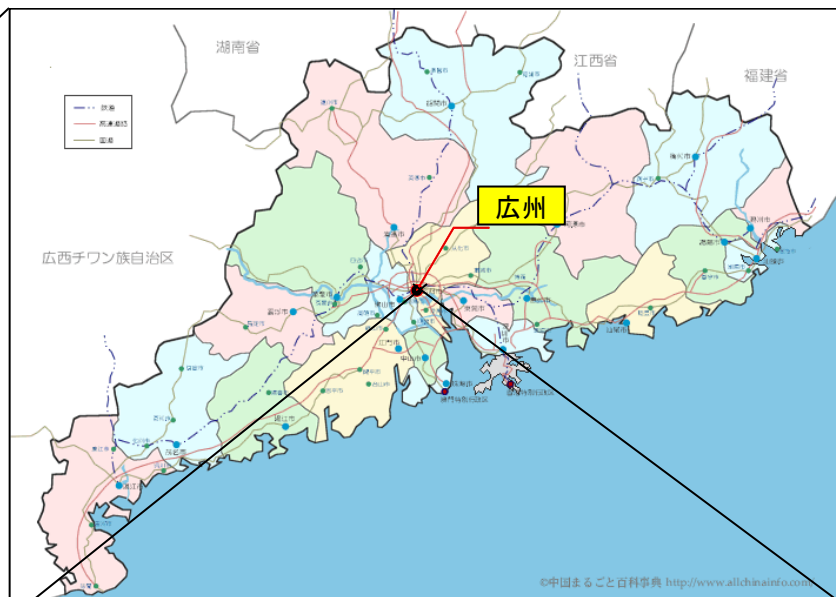
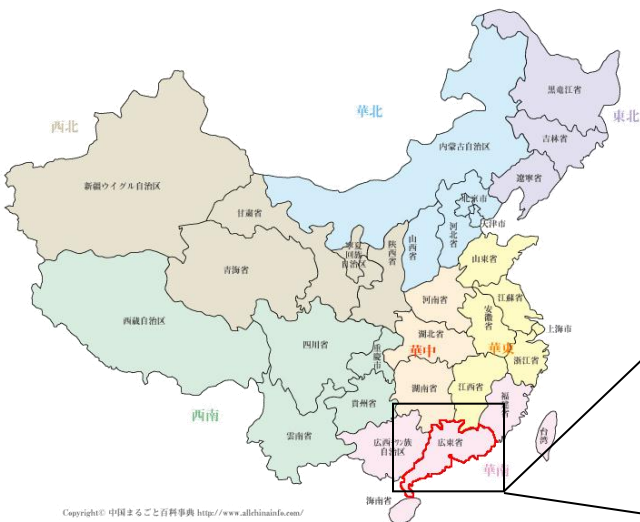
2011年度中国各地域の発掘・回収事業計画

現在

No.	年月 事業	2011年									2012年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	広州市 群星村	←→											
2	琿春	←→ 範囲検討のための発掘調査						発掘・回収範囲の検討					
3	蓮花泡	←- - -→ 住居撤去		←→ 居住地域その1		←→ 居住地域その2		←→ 居住地域その3		←→ 居住地域その4			
4	X線鑑定	南部(蚌埠、杭州、安慶、武漢、信陽)						国 慶 節	←→ 北部(石家荘、寿陽)		春 節		
5	伊春							←→					
6	ハルビン							←→					
7	広州市 明星村									←- - -→ 止水壁等工事		←→ 発掘・回収	
【凡 例】 日中共同実施： ←→ 中国側へ依頼： ←- - -→													

No.1

広州市(群星村)発掘・回収事業



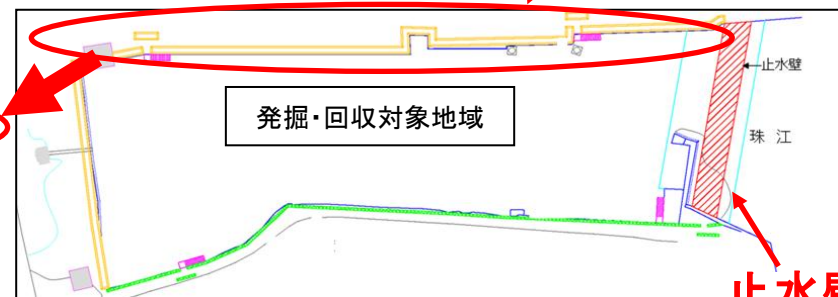
緊急発掘・回収事業

4月14日～5月12日

● 棧橋下の発掘・回収

● 砲弾等 6 発を密封梱包

本事業は、終了

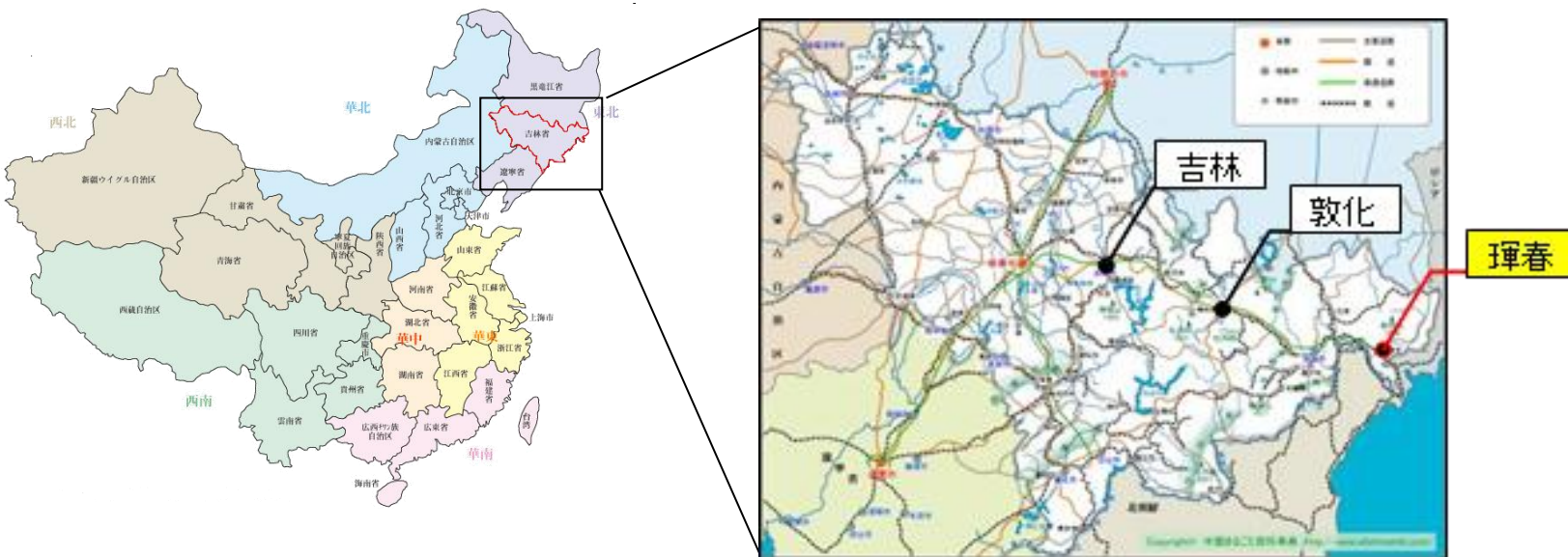


止水壁

No.1 広州市群星村現場



琿春市発掘・回収事業



発掘調査事業

5月18日～6月18日

発掘・回収範囲を確定するための調査

- 砲弾等の分布状況の確認
- 発掘調査地域の測量
- 発掘砲弾等 96発の仮梱包

今後の予定

来年度より本格発掘・回収を開始する。

No.2 琿春市現場



金属探査



金属反応点の発掘

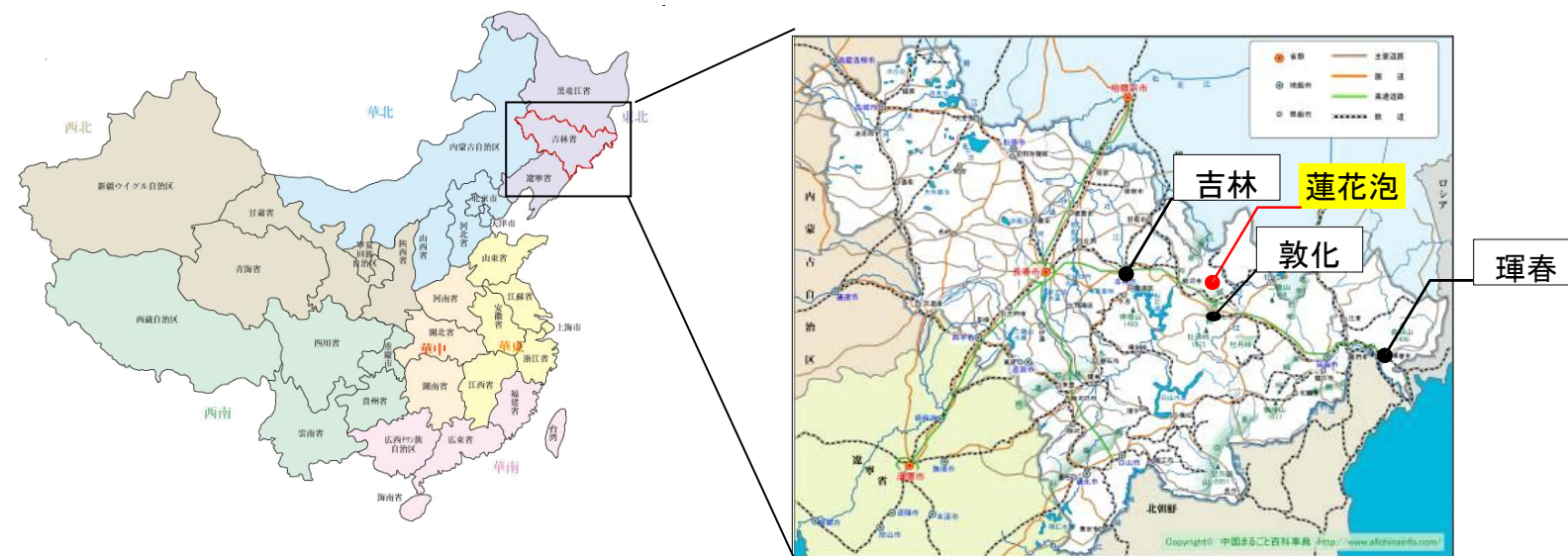


発掘した砲弾等



測量

敦化市蓮花泡発掘・回収事業



第11次事業(居住地域その1、2、3、4)

6月28日～ 7月29日(居住地域その1)

7月26日～ 8月24日(居住地域その2)

8月30日～ 9月28日(居住地域その3)

10月13日～11月15日(居住地域その4)

●居住地域166区画(約13ha)を発掘・回収中

●砲弾等104発を密封梱包

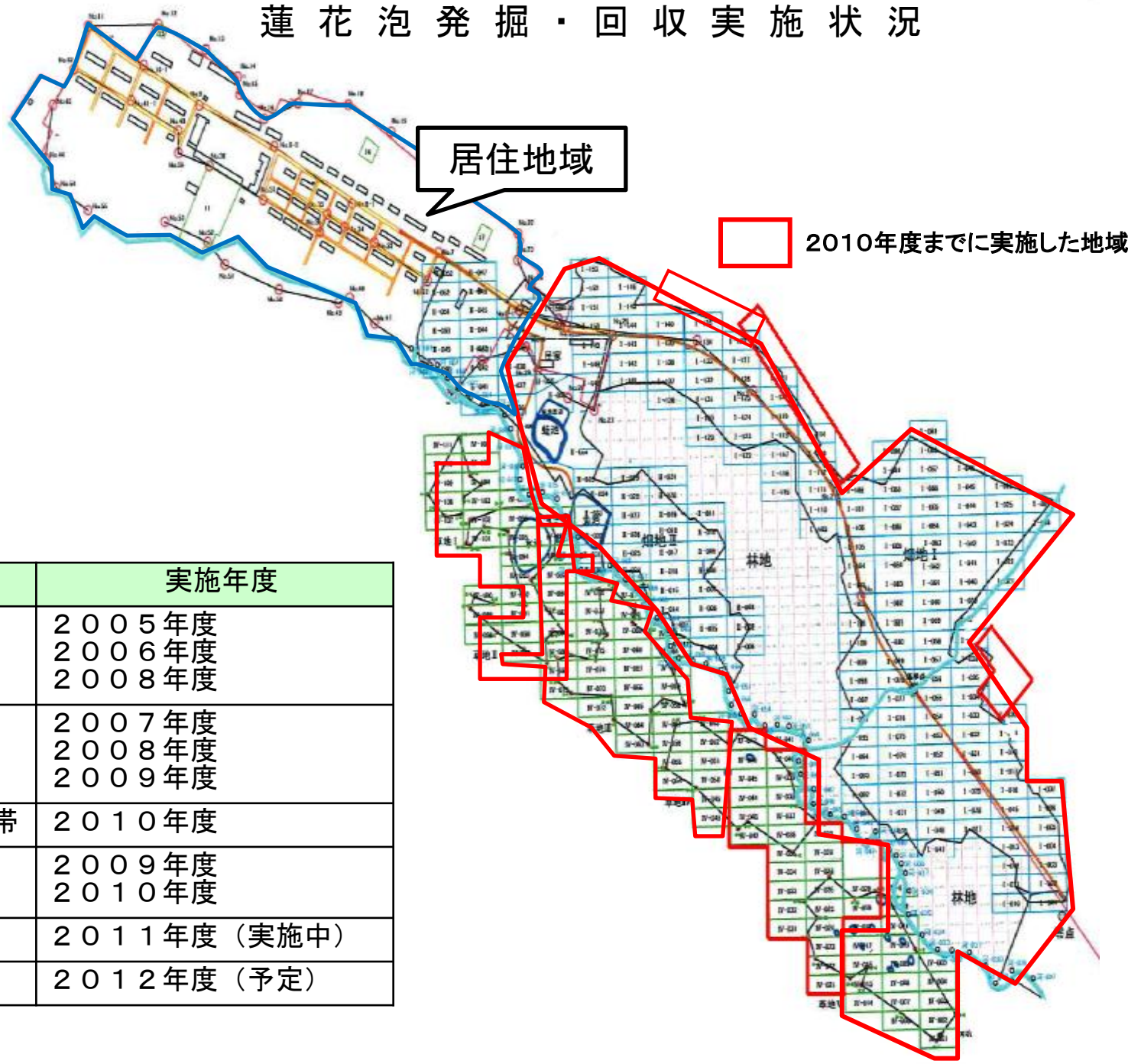
●一部区画が残る可能性あり。

実施中

今後の予定

来年度、河川、道路を実施して、蓮花泡事業は終了する予定

蓮花泡発掘・回収実施状況



区 分	実施年度
畑 地	2005年度 2006年度 2008年度
林 地	2007年度 2008年度 2009年度
畑地境界地帯	2010年度
草 地	2009年度 2010年度
居住地域	2011年度（実施中）
河川・道路	2012年度（予定）

No.3 蓮花泡現場



回収事業(X線鑑定等)



北部回収事業(X線鑑定)(石家荘、寿陽)

11月14日～22日

- 石家荘保管庫に保管されていた砲弾の内、X線鑑定が必要な19発を鑑定
- 寿陽保管庫に保管されている砲弾の内、梱包が必要な3発を密封梱包

南部回収事業(X線鑑定等)(蚌埠、信陽、武漢、安慶、杭州)

7月7日～30日

- 蚌埠、信陽、武漢、安慶、杭州保管庫に保管されている27発を鑑定



今後の予定

来年度、再来年度に黒竜江省、吉林省、遼寧省等の鑑定事業を実施する予定

No.4 X線鑑定現場



伊春市発掘・回収事業



緊急発掘・回収事業
8月21日～9月22日

- 民家内の発掘・回収
- 砲弾等 7 6 発を密封梱包

本事業は、終了



No.5 伊春市現場



金属探査



密封梱包



金属反応点の発掘



発掘した砲弾

ハルビン市発掘・回収事業



緊急発掘・回収事業
 10月12日～11月1日
 ●工場敷地内を発掘・回収中

実施中

本事業は、今年度に終了する予定

No.7

広州市(明星村)発掘・回収事業



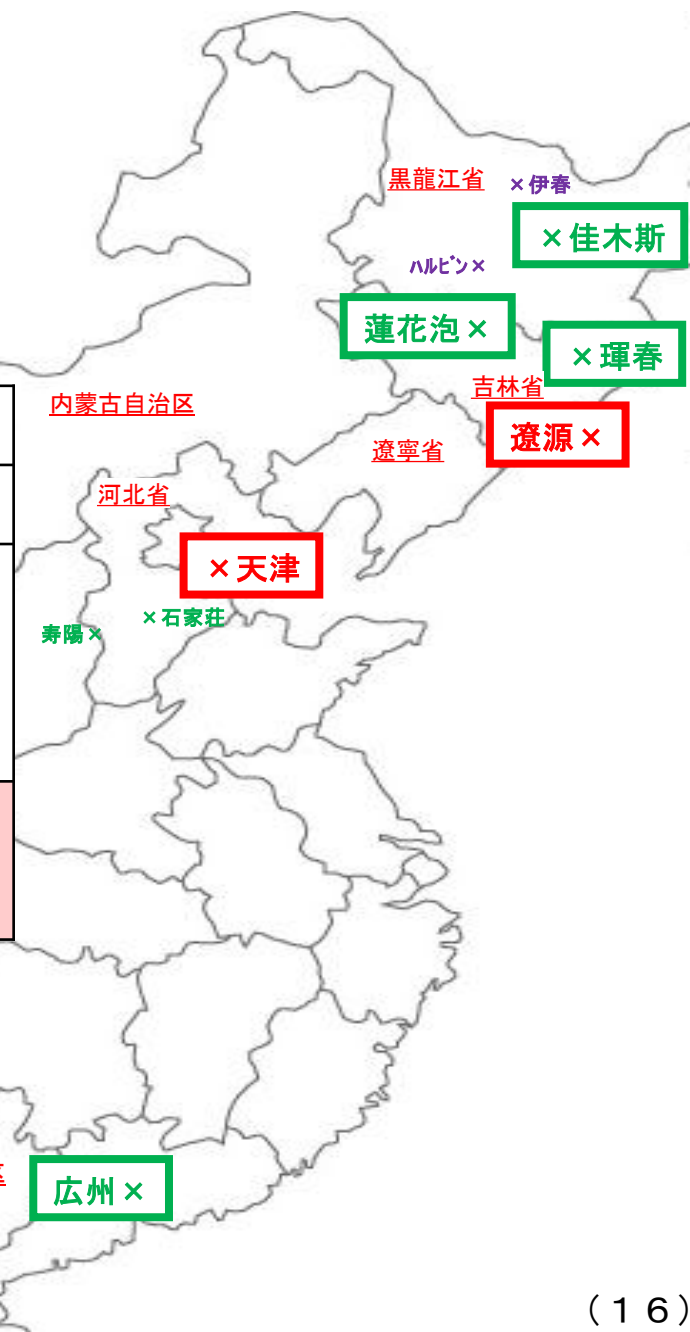
発掘回収事業

●止水壁工事終了後、平成24年3月～4月の間で、発掘・回収を実施する予定



今 後 の 予 定

残る事業	
①蓮花泡	来年度に終了予定
②琿春	予算処置を実施
③佳木斯	
④広州(明星村)	
⑤天津	外務省が今年度調査 調査結果により内閣府に引き渡される
⑥遼源	



平成24年度遺棄化学兵器廃棄処理事業 に係る概算要求について



平成23年10月17日(月)
第8回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

平成24（2012）年度 遺棄化学兵器廃棄処理事業に係る概算要求のポイント

1 事業の進ちょく等を踏まえつつ、事業を進める上で必要な経費を要求

平成24(2012)年度要求額	平成23(2011)年度予算額	対前年度増減額	対前年度増減比率
23,054百万円	21,922百万円	+1,131百万円	+5%

※ 平成22(2010)年度 当初予算額 18,362百万円 執行額 13,595百万円

2 概算要求の主な内容

廃棄処理事業運営費	1,721百万円
業務委託等に必要な経費。	
ハルバ嶺事業等関連経費	8,258百万円
吉林省ハルバ嶺における発掘・回収及び試験廃棄処理設備の運転等に要する経費。	
その他各地事業関連経費	12,778百万円
・中国各地において発見される遺棄化学兵器の発掘・回収等に要する経費。 （吉林省敦化市^{レンカホウ}蓮花泡、広東省広州市、黒龍江省^{ジャムス}佳木斯市 等） ・移動式処理設備による廃棄処理に要する経費。 （南部：湖北省武漢 等 北部：河北省^{セッカソウ}石家荘 等）	

平成24（2012）年度 遺棄化学兵器廃棄処理事業に係る概算要求

（単位：千円）

	平成23(2011) 年度予算額	平成24(2012) 年度要求額	比較増△減額
廃棄処理事業運営費	1,769,633	1,720,968	△48,665
ハルバ嶺事業等関連経費	9,937,745	8,257,627	△1,680,118
その他各地事業関連経費	9,963,559	12,777,943	＋2,814,384
事務費	251,449	297,059	＋45,610
合 計	21,922,286	23,053,597	＋1,131,211